

2026 年 3 月期 中間株主通信

2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

【株主の皆様へ】

協業を通じて新たな成長への挑戦

株主の皆様をはじめとする関係者の皆様の日ごろのご支援とご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

2026 年 3 月期第 2 四半期は、ファインケミカル事業の堅調な販売に加え、難燃剤事業の収益性が改善したことから、前年同期比で売上高・利益ともに大幅に増加いたしました。しかしながら、第 3 四半期以降は、難燃剤およびファインケミカル製品の需要動向や市況の変化の影響を受ける可能性があり、先行きは不透明な状況が続いております。上期の実績に安心することなく、引き続き事業環境を注視しながら、事業活動を推進してまいります。

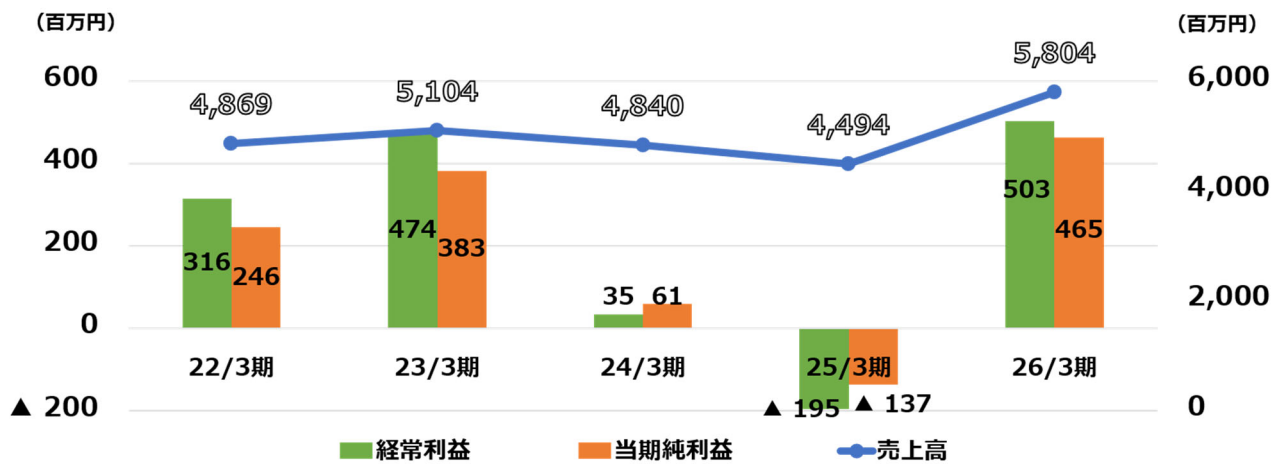
このような状況下ではございますが、成長戦略としてファインケミカル事業への投資を計画的に進めるとともに、収益性向上に向けた取組みを継続してまいります。また、来期より新たに当社グループに加わる錦海化学株式会社との資本を通じた協業により、グループ内の経営資源を有効に活用し、グループ全体としての成長を図ってまいります。

今後も中長期的な企業価値向上に努めてまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

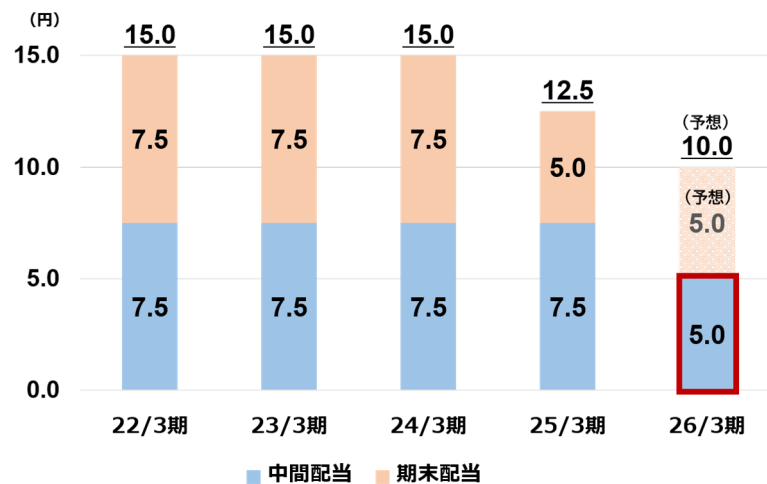
株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ
代表取締役会長兼社長

杉之原 祥二

【2026年3月期第2四半期(中間期)の業績状況(連結)】



【配当金関連情報】



【トピック:ファインケミカル事業における投資】

■錦海化学株式会社の株式取得

臭素化合物の受託事業や樹脂添加剤において、設備と技術力の強みを持つ錦海化学株式会社(岡山県瀬戸内市)の株式を取得します。今後はグループ会社間の連携を取りながら、各自の強みを生かした協業を進め、グループ全体の成長につなげてまいります。

■金属管理技術関連設備

当社事業子会社のマナック株式会社は、金属不純物管理技術向上およびヨウ素化合物を中心とした半導体関連製品の受託開発拡大するため、福山工場(広島県福山市)における金属管理技術関連設備の設置を進めております。現在、計画は予定通り進んでおり、2026年度内の稼働開始を目指しております。